



TITLE:

外國文献

AUTHOR(S):

CITATION:

外國文献. 日本外科宝函 1926, 3(5): 1087-1089

ISSUE DATE:

1926-09-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/199990>

RIGHT:

軟口蓋ニ於ケル病的諸象

Der weiche Gaumen als Träger von Krankheitszeichen.
Von Dr. Paul Neuda.

Mittheilung aus den Grenzgebieten der Medizin und Chirurgie.
39. Band, Heft 1, S. 51, 1926.

著者ハ系統的ニ患者ノ軟口蓋ヲ觀察シ軟口蓋ハ種々ナル疾患ニサイシ獨自ノ徵候ヲ示シ、之ニ依リ疾患ノ類症鑑別ニ役立つコトヲ發見セリ。即チ疾患ノ種ニ依リテ軟口蓋ニ於ケル

一、色 二、充血度 三、模様 四、水分及び脂肪含有量ニ變化ノ來ルヲ知レリ。

黃疸

黃疸ヲ來ス疾患ニ際シテハ全身ノ黃疸現ハレズトモ軟口蓋ハ黃色トナル。而シテツノ現レ方、種ニ依リテ異ル。

(一)、加答兒性黃疸

コノ際ハ黃色度頗ル僅少ナルカ時ニ殆ンド不明ナリ。

(二)、膽石症及び膽囊炎

コノ際ハ軟口蓋縫裁ノ兩側ニテ硬口蓋ニ接セル角ニ局限性ニ黃色現ル、(三)、肝ノ實質性慢性疾患

タトヘバ梅毒ノ第二期等ニ實質ノ犯サル、時ハ軟口蓋一般ニ擴散性ニ顯著ナル黃色ヲ示シ、同時ニ脂肪含有量ニ變化來リブクブクノ觀ヲ呈ス、而モ(二)ニ於ケル如ク局限性ノコトナシ。

急性及び慢性脾臟炎

脾臟ノ疾患ニ際シテハ膽囊疾患時ニ於ケルト同局所ニ著シキ褐色ヲ示シ青銅色調ヲ帶ビルナリ。カ、ル色ハ膽囊ノ疾患ニモ見得レドモ是ハ同時ニ脾ノ疾患アルヲ示スモノナリ。特ニ診斷ノ困難ナル脾ノ急性疾患ニサイシ意義多シ。

十二指腸潰瘍

瘍殆ンド例外ナク軟口蓋特ニ硬口蓋トノ境界ノ全線ニ沿ヒテ明カナル充血ヲ示スナリ。

胃潰瘍、消化性潰瘍、蟲樣突起炎

是等ニ際シテハ特殊ノ所見ヲ呈スルコトナシ。

故ニ診斷ノ誤リ易キ胃潰瘍、膽石症蟲樣突起炎等ト十二指腸潰瘍トノ間ノ類症鑑別ニ軟口蓋ノ所見ハ重大ナル意義ヲ有スベシ。(青柳)

癌惡液質ノ際ニ於ケル造血器ノ病理解剖的變化ニ就テ

Zur Kenntnis der pathologisch-anatomischen Veränderungen
unterliegenden Organe bei Carcinomkachexie.

A. Malinin (Assistenzarzt)

Zeitschrift für Krebsforschung, 22. Band, Heft 2, S. 136,
1925.

惡性腫瘍ハ殆ンド常に有機體ノ物質代謝障害、機能障害並ニ異常ノ血液所見ヲ呈スルモノデアル、カ、ル變化ヲ Kachexie (惡液質)ト云フ、惡液質ノ

原因ハ未ダ充分明カデハナイガ物質代謝障害ノ結果トシテ説明サレテキル、Miller(1893) ニヨレバアル特殊ノ癌毒素ニヨルト云々、F. Brimmettal u.

ハレテキル (Lintwareff) 故ニ脾臓組織ハアル病的状態デハ鉄ニ對シテ顯著ナル反應ヲ呈スル。

次ニ腹膜内ノ淋巴腺ヲ見ルニコレニモ轉移アリテ可ナリ澤山ノ大細胞ガアツタコトハ注目ニ値ス。

(Nenberg (1905), Kepinoff (1915), 等ニヨレバ異物溶解性ノ癌醱酵素ヲ認メテキル、Zykoff ニヨレバ癌毒素ハコトニツヨク筋肉、心臟血液及ビ腎臓上皮ニ作用スル、Lintwareff ニヨレバ結核「アルコール」中毒ソノ他ノ中毒症ノ際ニ起ル貧血ハ赤血球ガ盛ニ赤血球喰細胞(Erythrophagen)ニ喰ハレルタメデアルト説明シテキル、赤血球喰細胞ハ色々ノ毒素ニヨリ増加スルガ著者ハソノ毒素ノ中ニ惡性腫瘍ノ毒素ヲ加エテキル、ソノ際毒素ハ脾臓ノマルビギ氏小體ニ作用スルノミナラズ、他ノ淋巴結節ノ類似ノ部分ニモ作用スル。

一例、廿四歳♀、四年前ニ結婚、四ヶ月前カラ月經不順ト下腹痛トヲ訴フ、現在症、高度ノ貧血ト衰弱アリ、兩側ノ鼠蹊部ニ硬イ疼痛アル鶏卵大ノ腫瘍ヲフレル、臍ハ中央部カラ出血性ノ繡花狀腫瘍デ充サレテキル。

肛門ヨリノ検査デハヨク分ラヌガ上部生殖器官ノ關係ガアルラシイ。

コレヲ所見ニヨルト大體腔壁又ハ子宮頸部ノ癌腫デアラウトイフ診斷ガツク、血液検査ニヨレバ巨大血球、小血球異形血球アリ。

白血球ハ中性六〇%、淋巴球三二%、移行型八%、エオヂン嗜好一%、鼠蹊部轉移ノ顯微鏡的検査ニヨリ扁平上皮癌トイフコトガ判ツタ。

剖檢の所見、脾臓ハ二倍大ニシテ剖面ハ赤灰色、脾臓被膜ハ肥厚スマルビギ氏小體ハ蠟樣光澤ヲ呈シ脾髓ハ軟顆粒狀。

肝臓ニハ大ナル變化ナシ、臍ノ左後方ニ林檎大ノ腫瘍アリ、子宮壁ニハ腫瘍ナシ、剖檢ノ結果腔ノ原發癌ト判明ス。

顯微鏡的検査、脾臓ノ被膜及ビ中隔、肥厚シ濾胞ノ中ニハ大小種々ノ赤血球及ビ淋巴性要素が見エル、マルビギ氏小體ハ Suggenylloid、ノ像ヲ呈ス、考フルニマルビギ氏小體ノ内部カラアル特殊ノ大細胞ガ脾髓ノ中ニ運ハレルラシイ、コノ細胞ハ血流ニヨリ運バレル凡テノ異物ヲ採ル外ニ赤血球ヲ消化スルトイフ大ナル役目アリ、故ニ Erythrophagen (赤血球喰細胞) ト云

中ニ蜂巢樣空洞 (Bienenwaben Hohlräume) ヲ證明シタ、Lintwareff ハ之ヲ赤血球ガ喰ヒトラレタ有様デアルト説明シタ。癌毒素ハカクシテ赤血球喰細胞ヲ刺戟シテ赤血球ヲ盛ニ喰ヒトラシムルコトハ明デアル、尙肝臓ニハ大ナル變化ナク鉄反應ヲ與ヘズ、從テ赤血球喰細胞ヲ證明セズ、コレハ肝臓ト脾臓トノアル解剖的關係ニヨリ赤血球喰細胞ハ脾臓カラ肝臓ヘハ入リコマナイコトガ想像サレル、遺憾ナコトハ骨髓ノ顯微鏡的検査ノ行ハレテキナイコトデアル、併シ骨髓ハ明ニ無力トナリ、平常ノ如ク必要ニ應ジテ赤血球ヲ作ルコトガ出來ナイ状態ニアル。

要スルニコノ病理解剖的検査ノ結果貧血ト云フモノハ、赤血球喰作用 (Erythrophagie) ヲヨリ起ルモノデアルト主張スルコトガ出來ル。(涌島)

氣管支疾患ニ於ケル沃度油劑ノ用途

Use of Iodized Oil in Diagnosis and

Treatment of Bronchial Affections.

Smart Pritchard, M.D.; Bruce Wivie, M.D.

and J.K.M. Gordon M.D.

The Journal of the American Medical Association.

Volume 86, No. 15, P.1119, 1926.

茲ニ沃度油劑ト云フハ罌粟子油 (Poppyseed Oil) ノ中ニ沃度ヲ四〇%ノ割合ヲ結合サセタモノデ、從來骨髓、氣管支、肺臓等ノ疾患ノ診斷ニ屢用ヒラ

